

釧路ベイロータリークラブ会報

Rotary  |  イマジン
ロータリー

釧路ベイロータリークラブ会報

会長方針「みんなが楽しいロータリー」

2022-2023年度 第8回(通算第1153回)

プログラム「クラブフォーラム①」[担当]ロータリー研修委員会

■日時:令和4年 8月30日(火)18時30分～ ■例会会場:ANAクラウンプラザホテル釧路

[会長]濱田 聖子 [副会長]春日 賢二 [幹事]千葉 潔 [副幹事]遠藤 若枝

■ 点 鐘 濱田 聖子 会長

■ ロータリーソング

「釧路ベイロータリークラブソング」

ソングリーダー 貝嶋 政治 君



■ 会長挨拶 濱田聖子 会長



皆様こんばんは！会長になり会報を読み返す今、先ずはじめに会報を作成している皆様に感謝いたします。

今日は いつも歌っている4つのテストのことをお話しさせていただきます。

ポールハリスは色々な職業の人同士で親睦を深め、その集まりからロータ

リーが始まりました。
職業とは商人の集まりですが、日本の歴史をさかのぼると、戦国時代にも商人は居ましたが、江戸時代に現在の滋賀県で呉服業を営んでいた（近江商人）が現代の様な商人の始まりとされています。また平和でなければ多くの商人は商売を行うことはできません。その平和と聞いて平和ボケしている私は一瞬はて？と考えました。

平和でなければ貨幣価値は安定せず、物流も滞ります。

そこで皆様が歌っている4つのテストの意味がわかります。にわか勉強ですが私なりの解釈をしてみました。

◎事業を繁栄に導く為に4つのテストをまとめてクリアする心がまえの必要性を問われていると、解釈しました。

① 真実かどうか

嘘か真かですが、事業(商売)していく過程で真実とは事実でしたかにかたります。

② みんなに公平か

取引先全体に対して公平・公正にしていますか…

③ 好意と友情を深める

商売上の信用、評判を高め、より良い人間関係を築き上げて取引先を増やしていますか。

④ みんなのためになるか

売り手だけがもうけたり買い手だけが得をしたりでなく適正な利潤を得ているかどうか。

4つのテストの心得は、人間関係における高度な道徳的水準の向上をはか

り、それを維持する事であると解釈いたしました。

以上4つのテストでした。

今日はクラブフォーラムです。貝嶋直前会長よろしく願いいたします。

■ 幹事報告

千葉 潔 幹事



公益財団法人ロータリー日本財団より確定申告用領収証が届いております。皆様のパーソナルボックスに配布させて頂きました確認の程宜しく願い致します。

②公益財団法人米山梅吉記念様より賛助会ご入会のお願い及び秋季例祭のご案内が届いております。パーソナルボックス上に置いてございますのでご確認下さい。

③厚岸ロータリークラブ様より活動計画書が届いております。こちらもパーソナルボックスの上にあります。ご確認下さい。

④当クラブの今年度プロジェクトであります「釧路工業高等専門学校華道部育成計画」ですがロータリー財団にて承認・決定されました事をご報告致します。又、詳しい内容につきましては次週プログラム地区補助金報告会にてご紹介させて頂きます。宜しく願い致します。

◎釧路北ローターアクトクラブ様より新釧路川河川敷清掃のご案内が届いております。各テーブルに回覧用に置いてございますので参加希望の会員様は例会終了時に幹事までご連絡下さい。

各種記念日の紹介(親睦活動委員会) 【誕生祝】

漆崎隆君 昭和23年9月5日(74歳)
前年度はガバナーお疲れさまでした。これからもロータリーの話、お聞かせください。



大越卓也君 昭和51年8月31日(46歳)
来年は選挙ですね。お体に気をつけて頑張ってください！！



☆ **本日のニコニコ献金合計**
21,000円 累計 213,000円
小銭献金 848円 累計 2,402円



【貝嶋先生よろしくお祈いします】
濱田聖子さん、千葉潔君、春日賢二君
池田圭樹君、遠藤若枝さん、後藤義信君、漆崎隆君、森圭一郎君、伊藤広樹君、葎本正美君

【今日は宜しくお祈いします】

貝嶋政治君

本日のプログラム

クラブフォーラム①

担当ロータリー研修委員会



ロータリー研修委員長 貝嶋政治

皆様、今晚は。本日は第1回目のクラブフォーラムです。クラブ討論会ともいい、5大奉仕の奉仕部門ごとに最低年1回開催するよう奨励されてい

ます。それぞれの部門のクラブ活動の内容や課題について、会員が意見を出し合い、フリーディスカッションするのがこの会合の目的です。当クラブではロータリー研修委員長が担当リーダーとなっています。ベイ集会は、クラブフォーラムの為の準備会合で、少人数の会合のため、参加者全員の意見を聞くことができ、親睦活動にも大きく貢献しています。以前は「炉辺会合」とか「家庭集会」とか呼ばれていました。もともとは会員の自宅で行われていましたが、アメリカとは異なり、日本では会合を行えるような部屋がない家が多く、家族にも多大な負担がかかる事から店で行われるようになってきました。我がクラブでも当初は自宅での会合がありましたが、いつのまにかすべて店で行われるようになりました。さて今回は「自分にとってのロータリーとは」をテーマに、4つの班に分かれてベイ集会を実施致しました。意見交換を行った各班の報告をまとめましたので発表致します。

- ・定年になると付き合う人がいなくなるが、ロータリーには人がいるので、年上の人とも年下の人とも話ができる。話を聞くこともできる
- ・年上の人とも年下の人とも付き合う事ができる
- ・一企業の社長や代表と話す機会がないが、ロータリーでは多業種の人のお話を聞くことで勉強になる
- ・他のクラブに行くと窮屈かもしれない
- ・卓話やスピーチをする事で、話をす

る事もとても勉強になる

- ・ロータリーでは人とのつながり、横のつながりができる
- ・入会して良かった
- ・生活の一部になっている
- ・御縁が広がり仕事の面でも影響がある大切な場所である
- ・常に平等な気持ちを考えていて、大人の人が行動する所がロータリーと考えている
- ・着眼点によってテーマが広くて難しい
- ・自分が20年以上前に入会した時に先輩の方々にお世話になったことを今返したいと思っている
- ・入会したばかりなので、「自分にとってのロータリー」といっても、まだ考えられない
- ・個人個人で考え方が違う
- ・例会に行きたくないと思った事は一度もない
- ・普段日常の職業ではお会いできない人達、異業種の方達と会える唯一の楽しみの場
- ・生活の一部
- ・自己研鑽の場所
- ・普通やらない事をやらなければならなかったりするがそれはそれで楽しく、自分の成長につながる
- ・仕事ではお金を払って人を使うが、ロータリーはお金を払わないで人をタダで使う事を学ぶ所
- ・先輩が目をかけてくれたり助言をくれたりして成長できる自分磨きの場
- ・自分を改革する場であり自己研鑽の場である

ロータリーではさまざまな業種の社長や先生と呼ばれる方々と交流することができ、時に様々な考えや意見等を聞くことができる。それにより自分自身の見識も深まりたいへん勉強になると感じる。それらのことより自己改革あるいは自己研鑽になると思う。

・すばらしい出会いの場である

ロータリーでは、所属クラブ以外のクラブにもメイキャップ等で交流を持つことができ、住んでいる地域以外の方との出会いはまさにロータリーならではできないかと思えます。

・ロータリアンでなければ得られない感動や経験がある。

ロータリー活動を長年行っているとロータリアンでなければ決して味わう事のない経験をすることがあります。例えば最近の事例では、先日世界大会に参加した時にオープニングで参加国の紹介があり、ウクライナが紹介されたとき、会場にいた1万人以上の人々が総立ちとなり拍手を送る姿を見たとき、私は大変感動しました。

以上が各班の報告です。本来ですと、この報告を元に各テーブルで更に意見交換を行って頂くのですが、御存じのようにコロナ患者が釧路市内でも急増しているため、テーブルでの話し合いをどうするか非常に迷いました。そしてそれは避けたほうが無難かな

と思いましたが、それではどうするか頭を悩ませましたが、私とロータリーとの関係についてお話する事に致しました。昨年の出港式のご挨拶のなかでお話したように、現在の私とロータリーは深く関係しています。ロータリーがなければ、私は全く別の人生を歩んでいたと思います。この話はほとんどの方が覚えていると思いますが、出港式以降に入会された方もおられるので、再度お話致します。

私と夕美子の父親は釧路西ロータリークラブで一緒でした。そして家族例会などで、何度か夕美子に会ってすっかり気に入ってしまったようです。そこに現れたのが母の遠縁にあたる船越先生。当時、船越病院の院長で、後の東北北海道病院の初代院長です。私の縁談話を持って来ました。そのお相手というのが夕美子でした。私の父はすっかり乗り気に。話は私の知らない所でトントン拍子に進んでいきました。何も知らずに年末休暇で弘前から帰って来た私に、弟がレンタカーを借りて駅まで迎えに来ていました。「いったいどうしてわざわざ迎えに？」と驚く私に対し、今晚お見合いがあるので、いそいで理髪店に連れていくために迎えに来たとの事。あれよあれよという間に、お見合いの席に。お見合いは無事終了。特別嫌な相手ではなかったので、その後何度かデートを重ね、明日は弘前に帰るという日、船越先生から「これからどうする？」と聞かれたので、「もう少しお互いに知り合いたいの、弘前に戻ってから交際を

続けたい」と答えると、「このまま遠距離交際をしてもいつまで続くか分からない。破断になる可能性が高い。双方のご両親はすっかりお互いに気に入っているの、弘前に帰る前に婚約した方がいい。」とハッパをかけられました。しばらく考えましたが、その日のデートの時、「結婚を前提としたお付き合いをしたい」と話しました。聞いた夕美子も驚いたようですが、OKの返事をもらいました。早速、両親と船越先生に話をし、翌日私は弘前に戻りました。その後、私抜きで結納の儀が行われ、結婚式に向かって様々な事が決まっていきました。その中で私が関与したのは、小児科の助教授に仲人を依頼する事、親しい同級生に結婚式への出席を依頼する事、そして友人代表に挨拶を依頼する事でした。

そんな訳で、結婚式の進行はあらかじめ聞いてはいましたが、ほとんど決められた役割を果たすだけ、結婚式とは自分の為ではなく、お嫁さんや家族の為という印象を強く感じました。招待客も釧路西ロータリーの会員の皆様が多数出席されており、8～9割は知らない方でしたのでよけいそう感じたのだと思います。

結婚後、弘前での新婚生活が始まりました。そのまま行くと、青森県内の病院での勤務が続き、釧路に戻ると云う事にはならなかったかもしれません。そこで関与してくるのが当時釧路労災病院の院長だった新田先生です。新田先生と義父の中澤悟郎とは一緒に旅行に行くほど親しかったので、

労災病院に小児科を開設する事が決まった時、私にその話が舞い込みました。小児科教室に残って助教授や教授を目指すつもりが全くなかったの、釧路に戻る事に異論があるはずはなく、釧路労災病院に勤務する事に決めました。

労災病院での最初の1年間は最高でした。小児科ができた事は一般にはほとんど知られなかったため、患者さんは従業員関係の子供さんだけ。暇な時は、学校健診や検診車に乗っての職場健診を手伝っていました。しかし、翌年、産婦人科が開設されてからは、新生児を見るようになり、患者さんも徐々に増えてきました。入院患者も増え、日赤病院にお願いする事も多くなってきました。そして5年目の昭和60年に中沢医院の義父から小児科の患者が増えて大変になってきたので手伝ってくれないかと頼まれました。以前は近くにあった小児科の先生が亡くなり、他には小児科がなかったので、中沢医院にも小児科の患者が来るようになっていたためです。新田院長に相談したところ、快く了解していただき、労災病院を退職し、中沢医院に小児科医として勤務する事になりました。

そして平成7年、その時のガバナーだった坂本先生が突然見えられ、今度新しいロータリークラブが誕生するので、是非入会するように頼まれました。それまでも何度か西ロータリークラブから誘われていましたが、お昼の例会出席は無理とお断りしてしまし

た。しかし今度新しくできるクラブは夜に例会を行うというのです。中沢の義父からも勧められ、断り切れずに入会する事にしました。それまでも西ロータリークラブの家族同伴例会に何度か参加していましたが、会員として参加するのは勿論初めて。しかも一応推薦者は義父の中澤悟郎ですが、ロータリーについてのオリエンテーションは一切なし。5月に行われたチャーターナイトは緊張の連続でした。その後の話は時間も来ましたので、この辺でお開きに致します。ご清聴ありがとうございました。

■ ベイクラブ会員から一言

《私の趣味》 後藤義信君



私の趣味は、一人旅です。海外へも気軽に行ける時代です。

日常の生活から離れ、細かいスケジュールは立てずに自由気ままな旅ができれば、それは自分にとって大変理想的なことであります。

しかし、現実的にはなかなかそうはいかず、限られた時間とお金を有効に使うためには、あれこれ考え、かなり厳密に細かく計画を立てる必要があります。

そしてそれはそれで自分にとってはたいへん楽しい時間であり、実際の旅行以上に楽しかったりもします。

今は、昔と違いインターネットがあり、現地の情報がビジュアルで確認することができてたいへん便利な世の中になりました。

飛行機やバスなどの移動手段もホテルの予約もスマホがあれば簡単にできる時代です。

言葉だってスマホには、ほぼすべての国の言語に対応する翻訳アプリもあります。

昔であれば旅行会社に頼まなければならない専門的なことも自分でできてしまう、それがまた楽しさのひとつです。もちろん失敗することもたくさんあります。日にちを間違えたり、時間を間違えたり、行き先が違っていたりしたこともありました。

しかし、一人旅だと大体がなんとなくなるもので、なんとなくあったときは、それがまたうれしく快感になります。

旅行からぐったり疲れて帰ってきても1ヶ月もたたないうちにまた次の旅行のことを考え始めています。

ここ3年くらいはコロナウィルスの流行により旅行にかなり制限がかかっていましたが、今は制限が全て撤廃された国も増えてきました。

次はどこへ行こうか。まだまだ、行ってみたい国がたくさんあります。

また、私の中の旅行の虫が疼き始めてきました。

例会風景

写真① どうしたんでしょう？



写真② 写真①の結果こうなりました。
詳細は森さんまでお願いします。



例会前の打ち合わせ



親睦委員会打ち合わせ



夕食は美味しい焼きそばでした。



釧路ベイロータリークラブ出席委員会

在籍会員数	21名	賜暇 / 免除		欠席 / メイクアップ		出席率	
今週の出席率	出席 15名	名 / 1名		5名 / 名		76%	
日修正出席率	名	名 / 名		名 / 名		%	

会報・雑誌・IT委員長 横山 豊 : yokoyama_jiritsu@email.plala.or.jp

クラブ事務所

副委員長 伊藤 広樹 : landito@peace.ocn.ne.jp

釧路市幸町14丁目1-1 ノースコートサンスイ2F

委員 森 圭一郎 : fujitokenkogyo@purple.plala.or.jp

TEL : (0154) 23-6175 FAX : (0154) 23-6213

委員 後藤 義信 : yoshinob510@outlook.com

URL : //www.rc-kushiro.jp/bay/